



人気のほたる「白」に仲間入りした「赤」を楽しむワインファン

## 盛岡と葛巻で同時に ワインで春爛漫の宴

「くずまきワイン、春爛漫の宴」と銘打ったワインパーティーは4月26日、ふれあい宿舎グリーンテージと盛岡市のホテルメトロポリタン盛岡で同時に開催されました。

人気の白ワイン「ほたる」に赤が新登場した記念の宴では、グリーンテージ約100人、盛岡の会場に約150人のワインファンが香りとお味を楽しみました。

「甘味と酸味のバランスがとれていてとてもおいしい。白もいいけど赤も好き」と参加した下柳修子さん（浦子内・52歳）はご機嫌。葛巻高原食品の大久保圭祐さんは「ぶどう本来の果実味が味わえるとおきの1本です。特にも仕事を終えた女性に、疲れを癒していただくためには最高のワイン。1日の締めくりにぜひどうぞ」と自慢のワインを勧めます。

## シルバーカーで楽々 町婦協が益金で寄付

葛巻町婦人連絡協議会（柴田幸栄会長、会員161人）は4月15日、町の社会福祉協議会（長倉豊会長）にシルバーカー5台を贈りました。

この「おたすけカー」と名付けられたシルバーカーは、同婦人連絡協議会が2月18日実施した大演芸会の益金の一部を充てたもの。社協では、葛巻駅や葛巻病院などに備えて役立てることにしています。長倉会長は「バスに持ち込んで移動しているお年寄りを何度となく見ますが、これで買い物や通院も楽々です」と感謝。柴田会長も「喜んでもらえればうれしいです。気軽にご利用を」と笑顔で話していました。



シルバーカーを長倉会長（右）に手渡す柴田会長（右から2番目）ほか役員

## 意欲と希望でいっぱい 酪農研修に7人が入所

第28期町山地酪農研修センターの入所式は4月5日、葛巻交流館プラトールで行われ、酪農への夢の実現に向けて第一歩を踏み出しました。

研修生は本町出身者3人を含む7人で、このうち3人は昨年からの継続研修です。中村哲雄町長は「厳しい研修を乗り越えてこそ大きく成長する。研修を積んで1年後には、光を放てるような人間に成長してほしい」と激励。

研修生を代表し、北上市出身の伊藤藍さん（20）が「削蹄師が夢。目標に向け、多様な体験を通じてすべてに精通できるよう努力したい」と決意を述べました。



研修生を代表して誓いのことばを述べる伊藤藍さん（北上市出身・20歳）



2年ぶりの入学式で、馬淵小学校最後の1年生になった松浦里菜ちゃん。名前を呼ばれて「はい」とお返事です。

## たくさんの思い出を 馬淵小最後の入学式

統合を1年後に控えた馬淵小学校（小野寺和子校長、児童13人）の入学式は4月6日、新入生の松浦里菜ちゃんを迎えて行われました。

「みんなで里菜さんの入学を待っていましたよ」と校長先生に呼びかけられた里菜ちゃんは「はい」と、ちょっぴり照れた様子で返事。「馬淵小学校はこの1年間で閉校です。13人で思い出をいっぱい作りましょう」とお兄さん、お姉さんたちにやさしく迎えられ、目を輝かせました。同校は昨年新入生がなく、2年ぶりの入学式となりましたが、閉校を目前に、参列した保護者や地区の人たちは、感慨深い様子でした。

## モニュメントの除幕式 モデル的な企業の森へ

小岩金網株式会社（本社東京都・西村専次社長）は4月21日、昨年10月に同社が江刈川に取得した約260㍍の企業の森「くずまき高原こいの森」でモニュメントの除幕式を行いました。

式には同社の西村社長ほか役員と職員50人、中村町長ら町内関係者約10人が出席。モニュメントは町産材カラマツの集成材で、町章の一部をかたどったもの。中には木炭を敷き詰めた版をはめ込み、豊かな森林資源とその活用策を強調しています。

西村社長は「企業として森林保全など環境対策に貢献したい」と意欲的に話し、中村町長も「国内のモデル的な企業の森になってほしい」と期待を込めました。



モニュメントの除幕を終え記念写真に収まる関係者。中央が西村社長。

## たばこの投げ捨て注意 山火事防止のパレード

4月13日、山火事防止パレードがあいにくの小雨となった中で実施されました。

林業関係者や消防団などの車両21台が、「伝えたい森のやさしさ 火のこわさ」を統一標語に掲げ、町内3方向に分かれてパレードしました。

例年この季節は、山火事多発するシーズン。「行楽や山菜採りなどで入山するときは山でのたばこの投げ捨てはやめましょう」と呼び掛けました。

町では5月31日までの山火事防止月間期間中、このほか巡視員による山林パトロールを充実し、さらに山火事防止を徹底していきます。



あいにくの雨の中、3班に分かれて町内をパレードする関係者